

南相馬ブログ新聞

インターネット上のブログ(日記の一種:掲載許可済み)等からの転載です。執筆者は南相馬市関係の方(滞在の方・避難された方等)が主体です。**内容は個人の意見であり公のものではありませんがそれぞれの立場での本音が書かれています。**同じ被災者・市民同士の生の意見として参考にしていただければ幸いです。

編集・発行 NPO ながおか生活情報交流ねっと soiga01@gmail.com、
今まで協力いただいた先(判明している所のみ):長岡大学、同学生有志、長岡技術科学大学ボランティアサークル、飯田ボランティア協会、山古志村のマリ 配布協力避難所:新潟県長岡市内・湯沢町内・見附市内・小千谷市内、長野県飯田市内・豊丘村内、ほか

新聞 PDF 置場 <http://www45.atwiki.jp/soiga/pages/137.html>

9/11 活動報告 2011/09/13

sunsunmylife の気楽にこう

私が東京などの関東圏内で行っている避難者への支援活動、南相馬の会社への支援、インターネットのツイッターを利用した情報発信などを行っています。

<http://sunsunmylife.blogspot.com/2011/09/911.html>

今日は八王子市の八王子市庁舎浅川河川敷にて行われました「みんな違ってみんないい！」に突然参加してみるようになりました。

10 時過ぎに会場へ行き準備をしている中、気になるブースの前で足が止まりました。

「東日本大震災写真展」

そこにおられた小松さんという方にお声がけし、初めて遭ったにもかかわらず私の撮影した相馬地方の写真と PR 活動をさせて頂けることになりました。

開場後、東日本大震災ブースには色々な方がおいでになってくださり本当にうれしかったです。なにせ昨日電話して今日だったのですから(苦笑)

このブースには、八王子で自民党の伊藤議員や社民党の井上議員、そして八王子選出の民主党議員である「阿久津」さんも来て下さり特に国会議員で菅政権の際に側近でもあった阿久津さんには支援のお願いと福島の日でも早い真実に基づいた報道、除染などなどを要望しました。

またそれ以外にもうれしい出来事がありました。

「同じ会社に浪江から避難されている人がいるからこのチラシ持って行って渡すよ！参加出来るかわからないけど」

「私も何かしたかったのだけど、このチラシ持って家の近辺に貼るぐらいしか出来ないのですがかまいませんか？」

「私の親友が郡山でやっぱり人事には思えなくて・・・八王子で出来ることなら微力ながら協力して痛い」

などなどそういう方々が何名もおられたことがほんとうに嬉しかったです。

そして地震が発生した 2 時 46 分前には、東ブースで集いの PR と現状を緊張しながら PR し

3 時半過ぎには西ブースで紹介されました。その影響もあり皆様帰りに写真展ブースに寄りお話を聞いてくださったりポスターを持っていってくださる方がおり嬉しかったですね。



閉会后、片付け中に実行委員長である徳高さんとお近くブースの方々との記念写真！

皆さんの優しさやおもいやりに本当に嬉しさ。男泣きでした

突然の参加を受け入れてくれた実行委員会の皆様、ブースを貸して下さった

写真家の小松さま、佐々木様本当にありがとうございました。

9/12 活動報告 2011/09/13

<http://sunsunmylife.blogspot.com/2011/09/912.html>

今日はお電話・メールでのお問い合わせが多い日でした。

お電話では市議会議員の皆様、そしてなんと初めてのお問い合わせで福島県浪江から八王子の親類の家に避難されている年配の方からのお電話！

その内容はとても切実でした。

「私以外の家族が全員津波によって亡くなり、私だけが生き残ってしまいました。家も全壊。今はこちらの親類の家に住ませていただいておりますが、やはり知り合いがいないのは寂しいです。このポスターを見てぜひ参加したいと思ったのですが9月は亡くなった家族の納骨で福島に。先祖のお墓も流されたので直して納骨してあげたいのです。10月必ず参加しますので是非お願いします。」

こういうメッセージに私は胸が熱く、また開催したいと想いました。

その後家に帰るとポスターを貼りたい、宣伝したい、そして夜遅くにはお笑い芸人さんも支援したいということで色々な方に知って頂けました。嬉しい限り

近いうちに某大手新聞社様も記事にして頂けるとのことなので楽しみにしています

またお知らせになりますが、NPO ながおか生活情報交流ねっと様が発行している「南相馬ブログ新聞」様に9月13日発行分から掲載されることになりました。現地の声ではなく南相馬出身者である私の県外支援を微力ながら見ている方の励みになれば、そして同じく都内にいる被災者、出身者の気持ちに届けば良いと思っております。拙い文章で申し訳ないですが、どうぞよろしくお願いいたします。

相馬の民謡のこと

2011/09/15

http://sunsunmylife.blogspot.com/2011/09/blog-post_15.htm

！
少し今回はいつもと違うテーマで書きたいと思います。
自分も知っているようで覚え切れない「相馬の民謡」

この地方は江戸時代末の天明年間相馬領で大飢饉が起こり天保7年と11年には大凶作があった。藩主、相馬氏は人口をもとに戻すことを考え他国から住民を集めるために家臣を各地へつかわした。今で言うならば人口が少なくなったのを気にした相馬氏が「移民キャンペーン」をすべく市役所の観光課を使い各地で民謡を使った PR をしたという事です。

私は覚え間違えて相馬流れ山だと思い込んでしまっていたが、相馬二遍返しや相馬盆唄だったのだと知る。相馬節は遊び客相手の女たちが酒席の騒ぎ唄で歌っていたり、原釜大漁節は漁港・原釜でマグロの大漁があると、漁師は網元の家などに集まり、手拍子も賑やかに唄っていたなどこの相馬地方は歌が本当に多く歌好きが多いのだ。

先祖たちは移民で苦労しながらも民謡を歌いこの地域を守り続けてきた。

その歌を歌い辛い時も悲しい時も嬉しかった時も全て歌で歌い続けてきた。

今県外避難者に必要なのは歌ではないだろうか？ 歌が起爆剤になり元気になってもらうエネルギーになるかもしれない？！

#####

南相馬市から9月14日水朝 サイヤ社長のブログ

福島県南相馬市で青果食品惣菜スーパー「Saiya」を営んでいます。新鮮な話題をお届け！ 2011-09-14 05:49:22

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/ebc1836f30cdb40850448ddef32fe704>

『原発事故で奪われた日常』

快適な住まい、暗くなったら電気をつける。季節に関係なく果物や野菜が手に入り。食べたい時に食べる。しかし、この生活にはとんでもない危険を背負った生活だった事を知りました。自然災害には人間は古くから戦い続けています。想定外？の原発事故は建設した時から危険が伴う事を政府も東電も知っていたはずです。使用済み核燃料をどうすべきかを誰も本気で議論していません、低レベル放射能廃棄物の事も正直にどう処理するかは言いません。政府もそろそろ、聞くことはつらい事です。本当の事を言ってくれないと、ますます、つらい生活を送っている人達には前向きな考えに切り替えることが出来ないと思います。

南相馬市から9月15日木夜

2011-09-15 19:24:16

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/242c2bff89bab972c1a54cd8e8256936>

そういえば、今日は親父の命日でした。お昼前にお袋がお墓に行くのか？と聞いてきて思い出しました。早いもので平成10年に67歳で亡くなってもう14年です。

心臓病から糖尿病、最後はアルツハイマーで、ガイコツのようになって、亡くなっていきました。孫の成人式を見ることも無く残念だったに違いありません。小学生のころ、夏になると、川の権利を入札で買い、夜の7時頃になると、小学生の私がタイヤのチューブの浮き袋につかまって、真っ暗な川の中を泳ぎながら網を親父に渡していくのが、毎年の夏の夜の(一日置き)日課でした。川に網を仕掛けると、水面を竹竿で叩いたり、火をつけて水面に近づけて(アユ)を仕掛けた網に誘導して追い込むわけです。真っ暗な川で親父と二人きり、暗い川に入っていくのはなかなか勇気がいるものですよ。

9時頃にまた川に入って網を上げてくるのですが、そのころになると、近所の人達が川に降りてきて集まってきて、上がってきた網から魚(主にアユ)を外していきます。全部外すと親父が来た人達みんなに分けてあげて、終了です。西野家では魚(アユ)を食べません。なにが面白いのかその頃はわかりませんでした。みんなにあげるのがうれしくてただそれだけで、川を買っていたようですね。冬には山小屋に投網をかけて小鳥を取って炭火で焼いてみんなに食べさせていました。今では禁止ですが、日曜日になると山登りです。東京オリンピ

ックの女子バレーの金メダルの瞬間を山小屋のラジオで聞いていた事を覚えています。まだまだ親父の話で面白い事がありますが、次回に。

<http://blog.goo.ne.jp/minamisoumashi-hinan/e/ac8dd3c7be822b632903d24eb28488de>

南相馬市から9月16日金朝 2011-09-16 05:05:55

<http://blog.goo.ne.jp/shigeki2121/e/eecf64584afaf64857e1113c2377d2b1>

親父の話の続き

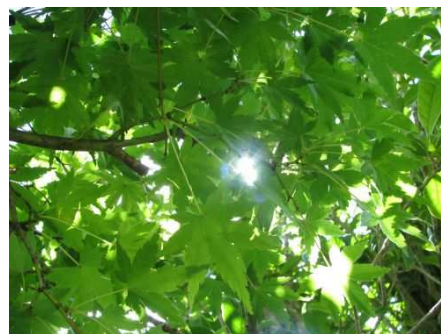
不思議な人で変わったいろんな人が家には来ていました。友達で共産党バリバリの田口さん、赤旗を持って来ては親父とよくケンカしていましたが、マーじゃんもしていました、そのおかげで私は小学生のころからマーじゃんを覚えしました。小学校の森先生も日教組で学校でも浮いていましたが家によく来ていました、私も先生の実家に泊りに行き初めて岐阜市内のデパートに連れて行ってもらってこれまた初めてお子様ランチなどをごちそうになりました。派出所のお巡りさんもきていましたが、いちばん驚いたのは、中学生の頃、その筋の組長さんと仲がよく(親父はその筋の人に好かれるみたいでした)

たまにですがきてましたが、ある日若い青年(28歳ぐらい)を連れてきたいましたが話を聞いていると、その青年は大学出でお父さんが小学校の校長先生、お母さんも先生

本人はその筋の組織に入りたいと組長の所に来たそうです。もちろん反対に遭いましたが最後にはお父さんが組長の所に息子をよろしくとあいさつに来たそうです。そして親父に紹介に来たようですが、聞いていて私は???なぜなのかよくわかりませんでした。とての賢そうな青年が何があって組織に入るのかがその時には理解できませんでした。いちばん衝撃的だったのは、島田という通称殺し屋という人です。嘘か本当かはわかりませんが、なにかトラブルがあると一人で乗り込んでいって解決してくるそうです。風貌は亡くなった漫才師の横山やすしそっくりでした、やさ男でいつも女性を連れていましたあきらかにあやしい薬をしていそうな感じでした。

春はクレー射撃、夏は川遊び、秋は山小屋、冬は狩猟、狩猟といえば、キジ狩りからイノシシ、熊、とよく山に行きました。猪狩り、熊狩りはど緊張です。間違っって撃たれないように、そればかりを気をつけていました。

今、あんまり私が趣味が無いのは、若い時に親父といろんな事をしすぎたからなのかもしれません。



2010. 9 わが家の庭で

この世は 科学的思考で やり過ぎてしまいました …。

こんな状況では

… 先に歩きだすしかありません。

助かりたい人は歩きだす …。

いくら言っても 聞かせても

聞く耳を持たない人は 腰を上げません。

可哀相ですが … 仕方ありません。

この大変革のときは これまでとはちがいで
社会のしくみが変わるのではありません。

人間が変わるのです。

人間の意識が変わるのです。

ゆっくり ジワジワ変わるのではなく…パッと変わるのです。

変わる人 変わる条件を備えた人は … 変わります。

変わらない人は … 変わらず

とり残され 悲しい結果(死?)をまねくでしょう。

変革期は … そういう意味で過酷です。

わかっている人は せめて 自分の与えられたシゴトを
キチッとすべき時がきたのではないのでしょうか。

自分自身の力を信じて …。

#####

明日の実りを祈る相双の秋

ゆっ太郎 (2011.09.13 01:30)

相双ゆたどさ ゆったりがどっさり。～ふくしま相双～

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3815.html>

東京電力原子力発電所の災害により市の全域で今年の米の作付けを禁止とした南相馬市。

東京電力原子力発電所より 30km 圏外とされ区域指定のない鹿島区も例外ではありませんでした。

そのような状況の中で、初夏の 5 月下旬放射性物質による影

#####

大変革のとき … 原発震災避難者の覚悟

負けてらんにあえ！みんなでなんとかすっぺ！！

南相馬市から新潟県三条市へ集団避難した者たちの現地報告です。 2011-09-14 22:32:47

響の度合いを確認するために試験的に、ご自分の田んぼに田植えを行った小野田さん。

【相双ゆたどさ】:南相馬市鹿島区で明日の農業に希望を託す田植え(2011.5.23:掲載)

<http://yumesoso.jp/yutadosa/archives/3009.html>

小野田さんの田んぼの稲も稲刈りが間近く育っています。



影響調査の田んぼは 3m x 10m に植えたコシヒカリと一段下に同じ面積のヒトメボレ 実をつけつつある稲穂を手に「稲刈りは 10 月アダムか中旬頃つがなあ〜 検出されねがったら、皆んなしで…」

稲の生育と放射性物質による影響について時折、言葉にならない悔しさを滲ませながら丁寧に説明を続ける小野田さん。



農家民宿「もっけの幸」もなさっている小野田さんは苺をハウスで栽培し首都圏などご自身で開拓されたお得意へ出荷していました。

今年はハウスの中も畝を切ったきりこれからの希望だと、ひと株の苗だけが残されていました。



小野田さんの敷地には今年摘まれることのないブルーベリーや柚子がたくさん恵みをもたらした庭先には大きなほおずきも生っていました。



////////////////////

◆ログハウスの宿

なちゆるる ふあ〜む もっけの幸(さいわい)

小野田 等

住所:福島県南相馬市鹿島区北屋形字田野入 2

TEL/FAX:0244-46-5392

////////////////////

#####

●「心の健康相談会」の開催

南相馬市 東日本大震災関連情報(H23.9.16 9:00 現在)

<http://www.city.minamisoma.lg.jp/i/k/kokoronosoudankai.jsp>

今回の震災によるさまざまなご心配などで、眠れない、気持ちが落ち着かない、不安でどきどきするなど、いつもと違うこころの状態に悩んでいませんか。ご自身やお子さん、お知り合いの方についてご心配がありましたら、ご相談ください。

とき:9月22日(木)、9月28日(水)

相談時間:14時00分〜(予約制)

ところ:原町保健センター

内容:精神科医師等による個別相談

申込方法:事前に電話等でお申し込みください

申込期限:それぞれ実施日の2日前まで

申込先・問合せ:健康福祉部健康づくり課(0244-23-3680)

#####